

科目名	グローバル英語A
科目名(英訳)	Global English A
科目ナンバー	HF332E08
詳細情報	授業外学修時間: 週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	塩澤 正
単位数	2
開講学年	3年
開講セメスター	春期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択: HF
他学科受講	不可
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	【春学期】 塩澤 正: 火5-6
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	3年次春学期に開講される科目である。「国際英語論」の理念(多様な英語を認識し、自分の日本人としての英語も肯定的にとらえて積極的に使う)と世界の様々な英語に触れ、さらに、英語に関連する社会言語学的側面も学ぶ。英語を世界的視野に立ち包括的に捉える視座を獲得する基礎専門科目と位置付けられる。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①: 〇 ②: 〇 ③: 〇
身につく基礎力 / 身につく汎用力	調査・情報収集力 クリティカル思考力 / 専門的知識・技能 国際的な視野 多様性

授業の主旨 (概要)	「国際英語論」の理念(多様な英語を認識し、自分の日本人としての英語も肯定的にとらえて積極的に使う)と世界の様々な英語に触れ、その特徴や社会言語学的側面も学ぶことを目的とする。最終目標は世界の多様な英語に接しながら、国際共通語としての自分の英語を肯定し国際的に汎用性のある英語を習得することである。自分の英語を肯定するという意味で、英語のアウトプットの訓練も行う。	
具体的 達成目標	国際英語論の理念が理解でき、「自分の英語」を使って積極的に英語をアウトプットすることができる。 ディプロマポリシーとの関係で以下のような汎用力が身につく 1) 専門的知識と技術 2) 国際的な視野 3) 多様性の重要性	
	1	【内容】 コースオリエンテーション 「グローバル英語」に関する基本概念 【授業外学習】 なぜ「国際英語論」という概念が生まれたのかについてのリーディングアサインメントを読む
	2	【内容】 なぜ「国際英語論」という概念が生まれたのか Textbook Chp. 1 New Englishes 【授業外学習】 多様な英語に対する2つの解釈についてのリーディングアサインメントを読む
	3	【内容】 多様な英語に対する2つの解釈 Textbook Chp. 2 English as an International Language vs. World Englishes Textbook Ch2 English in ASEAN 【授業外学習】 Kachruの3つの円についてのリーディングアサインメントを読む
	4	【内容】 Kachruの3つの円について Textbook Ch 3 Black English 【授業外学習】 なぜ国際英語の視点から英語を学ぶのかについてのリーディングアサインメントを読む

授業計画	5	【内容】	なぜ国際英語の視点から英語を学ぶのか 英語を学ぶ意義 Textbook Chp. 4 Japanese English Textbook Ch4 English and Volunteerism			
		【授業外学習】	英語の変種 1(イギリス)についてのリーディングアサインメントを読む			
	6	【内容】	英語の変種 1(イギリス) Textbook Ch 5 English in England			
		【授業外学習】	英語の変種 2(アメリカ)についてのリーディングアサインメントを読む			
	7	【内容】	英語の変種 2(アメリカ) Textbook Ch 6 English in America			
		【授業外学習】	中間テスト(プロジェクト)の準備			
	8	【内容】	英語の変種 3(オーストラリア) Test 1			
		【授業外学習】	英語の変種 4(フィリピン)についてのリーディングアサインメントを読む			
	9	【内容】	英語の変種 4(フィリピン) Textbook Ch 7 English in the Philipines			
		【授業外学習】	英語の変種 5(インド)についてのリーディングアサインメントを読む			
	10	【内容】	英語の変種 5(インド) Textbook Ch 8 English in India			
		【授業外学習】	英語の変種 6(シンガポール)についてのリーディングアサインメントを読む			
	11	【内容】	英語の変種 6(シンガポール) Textbook Ch 9 English in Singarore			
		【授業外学習】	グローバル英語教育についてのリーディングアサインメントを読む			
	12	【内容】	グローバル英語教育 Textbook Ch 10 English as a Lingua Franca			
		【授業外学習】	ここまでの内容を復習する			
	13	【内容】	全体学習およびグループワーク: 世界の英語の特徴や文化について様々な角度から分析を行う(8) Textbook Chp. 11 My English			
		【授業外学習】	授業中にやりきれなかったことを進める。			
	14	【内容】	グループワーク: グループ発表 Textbook Chp. 13 English education			
		【授業外学習】	グループワークを文字でまとめる。			
	15	【内容】	まとめ Textbook Chp. 12			
		【授業外学習】	今学期の総復習をする 期末課題に取り組む			
授業方法	講義、英語アウトプット訓練、討論などを中心に行う。課題発表やゲストレクチャーもある。授業で学んだことを応用する課題があるが、課題はコメントをつけて、後日返却すると同時に、授業中にも随時フィードバックする。					
成績の評価方法	出席、期末試験、小テスト、プロジェクト、授業への参加度を総合的に判断する。 期末試験:50% 授業での積極性・貢献度:20% 小テスト、プロジェクト:30%					
成績の評価基準	出席は80%未満は単位がでない。期末試験、小テストは授業の理解度が高い者が評価も高い。プロジェクトはその質、ユニークさで判断する。授業へ積極的に参加し発言など貢献している者も評価が高くなる。3回を超えて欠席したものは理由を問わず単位はださない。					
教科書	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『Gloval Activator』	塩澤正	金星堂	1900+tax	9784764740037
参考文献						

 備考	
 関連 ホーム ページ	
 メール アドレス	塩澤 正 shioz@fsc.chubu.ac.jp
 オフィス アワー	